

水稻直播栽培特報(第3号)

～「R2 JAなのはな米品質向上運動」実施中～
 なのはな米1等比率95%以上!!

令和2年6月
 なのはな農業協同組合
 富山農林振興センター

本年は、播種時から気候に恵まれたため概ね苗立ちは良好で、すでに分げつが発生しているほ場も見られます。今後は、急激に分げつが増加するため、特に苗立ちが多かったほ場では、過剰茎数が懸念されます。

早急に『溝掘り』を行うとともに、『中干し』は遅れずに実施し、稲体および根の健全化を図りましょう。

1 溝掘り・中干し

(1) 溝掘り[6月上旬までに設置]

『中干し』に入る前に、5m(15～17条)に1本を目安に必ず『溝掘り』を行いましょ(下図参照)。
 なお、播種と同時に溝掘りを行っている場合でも、再度『溝掘り』を行いましょ。

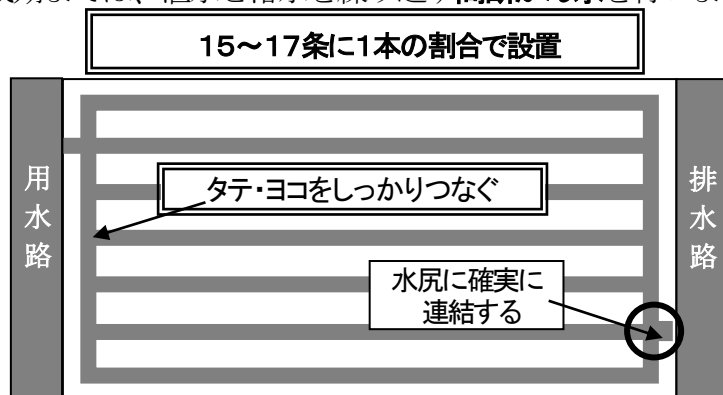
(2) 中干し[6月上旬～中旬に開始]

『中干し』は、1m間の茎数が100本程度になる頃から遅れずに開始しましょ。
 なお、極端に強い『中干し』は、穂数不足になりやすいので、避けましょ。

(3) 間断かん水[中干し後]

中干し後から幼穂形成期までは、湛水と落水を繰り返す間断かん水を行いましょ。

◎溝掘りの目安



鉄コーティング直播では、根の露出が多いと倒伏の原因となります。強めの中干しで根の土中への貫入を促しましょ。

2 病虫害防除

(1) いもち病対策：予防粒剤は、6月中旬頃までに散布しましょ。

薬剤名	10a 当たり使用量	使用上の注意
コラトップ1キロ粒剤12	1kg	散布後4～5日程度は「湛水状態」を保ち、7日間は落水や掛け流しをしない。
コラトップジャンボP	500～650g 小包装(50g)10～13個	

(2) 害虫対策：斑点米の原因となるカメムシ類の繁殖を抑えるため、畦畔や雑草地の草刈りを徹底しましょ。

3 雑草防除

- ・藻や表層はく離の発生ほ場では、水の入れ換えを行うか、イネ3葉期以降であることを確認してモゲトン粒剤(1.5～2kg/10a)を散布しましょ。
- ・雑草が残っているほ場では、雑草の種類に応じて後期剤を適期に散布しましょ。

雑草種類	使用除草剤	10a 当り使用量	使用時期	使用回数	使用上の注意
ノビエのみ	クリンチャー1キロ粒剤	1.5kg	播種後25日～ノビエ4葉期まで(収穫30日前まで)	2回以内	湛水状態で散布し、散布後5日間は湛水を保つ。
ノビエと広葉雑草	サンパンチ1キロ粒剤	1kg	イネ3葉期～ノビエ3葉期まで(収穫60日前まで)	1回	湛水状態で散布し、散布後5日間は湛水を保つ。
	ワイドアタックD1キロ粒剤	1kg	イネ3葉期～ノビエ4.5葉期まで(収穫60日前まで)	1回	湛水状態で散布し、散布後5日間は湛水を保つ。
	シアゲMF1キロ粒剤	1kg	イネ3.5葉期～ノビエ4葉期まで(収穫60日前まで)	1回	湛水状態で散布し、散布後5日間は湛水を保つ。
	アトカラSジャンボMX	500g(小包装20個分)	イネ4葉期～ノビエ3.5葉期まで(収穫45日前まで)	1回	5cm以上の深水状態で散布し、散布後5日間は湛水を保つ。藻類や表層はく離が多発しているほ場では、使用を避ける。
	クリンチャーバスME液剤	1000ml(希釈水量70～100l)	播種後10日～ノビエ5葉期まで(収穫50日前まで)	2回以内	落水状態で雑草茎葉部に薬剤が付着するように散布する。また、3～4日間は入水、落水しない。
広葉雑草のみ	バサグラン粒剤	3kg	イネ3葉期～入水50日後まで(収穫60日前まで)	1回	落水または雑草が露出する程度の浅水状態で、晴天日を選んで散布し、散布後3～4日間は入水・落水しない。
	バサグラン液剤	500～700ml(希釈水量70～100l)	播種後35～50日(収穫50日前まで)	2回以内	落水または雑草が露出する程度の浅水状態で、晴天日を選んで散布し、散布後3～4日間は入水・落水しない。

※「直播水稻」で登録のある除草剤を使い、決められた使用回数や散布量を守る等、使用基準を遵守しましょ。

※ 除草剤散布後7日間は止め水管理(田面水が用排水路に流れ出ないよう管理)し、河川等の環境を守りましょ。